

## 豊崎居住者へのヒアリング調査

2009年6月から学生らが中心となり、豊崎プラザの居住者に対するヒアリング調査を実施している。この研究は耐震改修と住生活の向上の検証、長屋における居住文化の再評価等を目的としており、ヒアリング調査では、改修長屋への新・旧居住者の評価、各居住者の住まい方や改装の履歴、長屋居住者の変遷や入居の理由、豊崎地区の歴史などを聞いた。その結果、新しく入居した若い居住者は、季節や地域のふれあいを感じながら、長屋住まいを積極的に楽しんでおり、昔からの居住者も若い居住者を歓迎していた。また、戦前からメリヤス関連の家内工業に携わる住戸が多くあって、近隣の協力や結束につながっていることなどが分かった。さらに、改造が進んでいた長屋の原型がほぼ明らかになった。間取りや暮らしなど、プライバシーに関わる調査に快く応じていただいた。このことは、3年間の活動を通じて築いてきた信頼関係の成果として意義深いものがある。



学生による長屋居住者へのヒアリング風景

本年2月の卒論発表をもって調査は一つの区切りをみたが、長屋建設当初の居住者まで追跡することができなかった。今後は、更に周辺地域への聞き込みなどを行い、内容の補完と拡充を継続していきたいと考えている。

■ 綱本 琴(豊崎プラザ研究補助スタッフ)